

社会思想史

科目責任者 竹内高明
学年・学期 1学年・1学期

I. 前文

戦争と革命の世紀と言われた20世紀、激動する世界の中でよりよい社会の実現を求め、苦悩しながらも鮮やかな生の軌跡を残していった人々がいた。この授業では、彼らを主人公とした優れた映画を視聴し、彼らの生き方と言葉に触れながら、21世紀に生きる私たちの在り方を再考し、未来に向けての自らの指針を検討する。

II. 担当教員

特任教授 竹内高明 基本医学

III. 一般学習目標

日本と世界の現代史の中で起こった諸事象とそこに表れた問題、それらと個人の生き方の相関を考え、人権の尊重と民主主義社会の実現に向けて努力した人々の遺産を学ぶ。

IV. 学修の到達目標

過去の歴史と世界の現状が人々と国のふるまいにどのように関わるかを理解し、社会と世界の変化の中で自らの指針を保持し、自立した判断と行動ができる。

V. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)
2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション
6: その他 空欄: 該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講義テーマ	担当者	アクティブラーニング
1	5	13	水	5	『映画 日本国憲法』: 今この国と私たちはどこにいるのか	竹内高明	1, 2
2		20	水	5	『金子文子と朴烈』: 私は私自身を生きる	竹内高明	1, 2
3		27	水	5	『ハンナ・アーレント』: 全体主義の加害者と被害者	竹内高明	1, 2
4	6	3	水	5	『ゆきゆきて, 神軍』: 「十五年戦争」と戦争責任	竹内高明	1, 2
5		10	水	5	『わが街わが青春 石川さゆり水俣熱唱』: 高度経済成長と環境破壊	竹内高明	1, 2
6		17	水	5	『ミルク』: 政治の場面に出了性的少数者	竹内高明	1, 2
7		17	水	6	『マルコムX』: 人種を超えた平等の追求へ	竹内高明	1, 2

VI. 評価基準 (成績評価の方法・基準)

事前課題の発表 (30%), 出席や授業に対する取り組み (10%), 期末レポート (60%) をあわせて総合的に評価する。

VII. 教科書・参考図書・AV資料

教科書は特に指示せず、事前学習動画で講義内容を説明し、授業時に資料を配布する。また、必要に応じて参考図書を指示し、授業中に視聴覚資料を用いる。

VIII. 質問への対応方法

授業中・授業後に随時受け付けるほか、語学・人文教育部門室でも対応可。

部門室での質問の場合は、あらかじめ連絡を取ることを。

竹内連絡先：t-take@dokkyomed.ac.jp

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
医師としてのプロフェッショナリズム 幅広い教養，利他の精神，医師に求められる品格を身につけ，豊かな人間性を育み，他の医療者と協調して，多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	◎
能動的学修能力 医学知識・技能を主体的に学び，情報・科学技術を活用して，生涯にわたって自ら問題を発見し，解決することができる	
地域医療の理解 地域社会における医療の役割と，その中核を担う意味を理解できる	
国際性 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し，課題解決に向けて行動することができる	○
リサーチマインド 研究活動における積極的な創造・発信に挑み，医学・医療の進歩に貢献することができる	○

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

事前課題について授業中，全体及び個別にフィードバックを行う。

XI. 求められる事前学習，事後学習およびそれに必要な時間

各回の授業前に予習動画を視聴し，事前課題を準備する（20分）。事後学習として，授業での学びを整理し以降の学習に活かす（20分）。

XII. コアカリ記号・番号

PR-03-01-01, GE-04-02-01, SO-06-01-03